

【学校教育目標】 豊かな心をもち、夢の実現に向かって自律的に活動する久里の子の育成

～ 元気・笑顔・思いやりがあふれる学校 ～



# 久里の子

唐津市立久里小学校  
学校便り No.7  
令和6年 8月26日  
文責： 宮本 克一

## 「2学期始まりの式」～2学期スタート！

8月26日から唐津市一斉授業が始まり、いよいよ2学期が始まりました。

さて、37日間のお子様の夏休みはいかがだったでしょうか？夏休み前の終業式の時に子どもたちと「水の事故・車の事故・人の事故にあわない・熱中症予防」の約束をしていました。今年の夏はこれまでにない猛暑となり、熱中症の患者が多発したというニュースを耳にしました。また、日本のあちこちで車の事故、水の事故で尊い命が失われたというニュースを目にしました。そのたびに、久里小の子どもたちは大丈夫かな？と心配になつたところでしたが、久里小においては「事故」等の報告がなかったということで、ひとまず、ほっとしているところです。



2学期は10月20日に運動会を予定しています。運動会はこれまでの様々な経験・体験を通して身に付けたリーダーシップや諦めない心、仲間を大切にする気持ちなどをいかんなく発揮することができる行事です。子どもたちの心身がさらに大きく成長する姿がたくさん見られる行事でもあります。その他にも今年はSAGA2024国スポの観戦なども予定されています。1学期同様、子どもたち一人ひとりにしっかりと寄り添いながら、全職員一丸となって全力で頑張っていこうと思います。保護者の皆様・地域の皆様のご理解とご協力をよろしくお願ひいたします。



体育館がまだまだ暑いので、オンラインで2学期始まりの式を行いました



エアコンの効いた涼しい教室で話を聞く子どもたち

### 【2学期始まりの式の校長の話より（一部抜粋）】

2学期始まりの式では、2つの話をしました。一つ目は「心のスイッチ」の話をしました。「心のスイッチ」を入れるのは誰か、他の人が助けてくれることもあるかもしれませんし、何かのきっかけで入ることもあるかもしれません。でも、スイッチを入れるのはやっぱり自分自身です。どうやったら自分自身でスイッチを入れることができなのか。スイッチの入れ方は、まず①自分なりのはっきりとした目標をもつこと、②そのためまずは小さな1歩を踏み出すことです。誰でも「心のスイッチ」をもっています。スイッチさえ入れば、きっとその人なりの頑張りができるはずです。さあ、みなさん今すぐ「心のスイッチ」を入れて2学期も頑張りましょう。

2つ目の話は「くりっこスマイルプロジェクト」についてです。全ての児童が安心感を持ち、居心地のいい学校・学級にするために様々な取り組みを行ってきました。2学期からは「久里小 2つのたいせつ」という目標を作り、全校で取り組んでいこうというものです。2つの大切なことは ①友だちをたいせつにしよう ②きまりをまもろう の2つです。久里小の全てのクラスで同じ目標をもって取り組んでいきます。



## 今年の運動会は ★午前中「学校」 ☆午後「久里地区」

今年度の久里小の運動会は**10月20日(日)**を予定しています。学校の運動会は**午前中**に終了します。そして、引き続き午後は「久里地区」の運動会となります。学校の運動会終了後の動きは地区ごとで違ってくるかと思いますので、各地区のスポーツ協会の役員さんにお確かめください。

なお、学校の運動会の詳細な日程については後日、お知らせいたします。



### 「防災週間」「津波防災の日」「火山防災の日」~8/30(金)から9/5(木)

8月8日の16時43分。突然、スマホからけたたましい音とともに地震警報が流れてきて驚かれた方が多かったのではないかと思います。それ以降「南海トラフ地震」関連のニュースを見るたびに不安な気持ちになっています。さて、そんな中、学校では9月6日(金)に津波避難訓練を実施します。火災避難訓練と違って、津波避難訓練では校舎の3階に避難します。子どもたちには災害の内容をしっかりと理解して、自分の命を適切な行動で守る力をつけたいと考えています。自然災害はいつどこで起こるか分かりません。ぜひこの機会に、家にいる時、地区内や友達の家にいる時など学校以外の場所にいる時の避難の方法や場所について家族で話し合って、共通理解を図っておくといいですね。「自分の命は自分で守る」



### 「学校全体で取り組むポジティブ行動支援」(SWPBS) Vol.4

#### ⇒“しかるべきのポイント”

ポジティブ行動支援では「ほめる」ことを意識して支援を行うことを基本としていますが、しかるべきにはしからなくてはいけません。ではどんなときにしかるべきかというと、**命やけがの危険があるとき**と人としてしてはいけないとしたとき(いじめや人権を踏みにじるような言動など)です。

しかるべきのポイントは

**① どこがいけなかつたのか**

**② 次にどうすればいいのか**



この二つをあわせて、分かりやすく説明することが大切です。

**称賛(ほめる)と叱責(しかる)の比率は5:1が良いと言われています。**